

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会	代表者	会長 山崎 和男	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・僻地診療、往診医と細かな変化も情報共有することを心掛け、連携の充実を図っている。 ・自宅での暮らしを継続するために必要な「自分で出来ている事」を維持できるように、その人らしさを大切にしながら見守り、必要なお手伝いのみ行う事を心掛けている。
事業所名	小規模多機能ホームみさき	管理者	渡辺 純子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	6人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・「できている部分」の維持、「できていない部分」の改善に順次、取り組んでいく ・事業所のスタッフ全員のレベルが一定水準以上になるよう、意識を高く持ち、取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・「できている部分」の維持は実行できたものの「できていない部分」の改善は一部の項目についてのみ改善できた ・資質向上にむけ、スタッフ全員が何らかの研修に参加する事は出来たが、外部研修へはあまり参加出来なかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない職員人数でいろいろなサービスをして頂いてありがたい ・外部への研修は大事かもしれないが、日々の業務で忙しい中、みさき内で外部の方に来て頂いて研修を行って貰えるよう、取り組んではどうか 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの資質向上を目的に、定期的に内部研修および外部の専門職を招いての研修会を実施する
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族や地域の方を招いての行事や活動を企画し、足を運んでいただける機会を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・みさき通信を配り、高齢者に声かけを行った ・身体が不自由だが、当事業所も他の通所系のサービスも利用されていないが、美容院を利用したい方について、みさきに散髪業者が来られる日を伝え、みさきで散髪をご利用いただいている 	<ul style="list-style-type: none"> ・家でいつも一緒にいるため、家族はわざわざ様子を見に来たいとは思っていないと思う。連絡ノートにお出かけや行事の様子を伝えて貰っているし、それで充分だと思う ・鍵をかけているのかいないのか知らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の気がかりな方へ定期的に声をかけ、事業所のイベント等に参加していただき交流を図る

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事にも積極的に参加し「福祉の相談窓口」としての機能をアピールする 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり協議会の行事に参加するために連携を取っている ・7/22～8/19 までの約 1 か月間 神子の浜掃除を行った ・地域住民の方からの介護や制度についての問い合わせや情報があればすぐに連絡を取り介護認定申請や利用に繋げた 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用当初は、他のデイからの利用で不安もあったが、今では、みさきは無くてはならない施設になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の「福祉相談窓口」としての役割を強化する ・地域でのイベントや行事に出向き地域の方との交流の機会を積極的に持つ
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望を取り入れた戸外活動、交流の機会を増やす ・運営推進会議で知り得た気がかりな方について、安否確認など見守り体制作りに努める ・利用者の地域での暮らしを支える近隣の方と会話する機会を持ち、みさき利用時では知り得ない、その人の「地域での暮らし」を知りニーズの発掘や問題解決に繋げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回、すべての利用者が活動に参加できるよう、予め行きたい所を利用者と一緒に考え、行ったことがない所や以前行って良かった所に行く様にした ・お弁当を持っての遠足を年 2 回行い、個々の利用者の体調等も考慮しコースや目的を分けた ・岬小の体育館を借りて、リハビリやゲームを行った ・気がかりな方のお宅を訪問し安否確認をしたり、集落であった際に声をかけるようにした ・送迎や訪問時に、ご近所の方と挨拶や会話を通して情報を得るようにした 	<ul style="list-style-type: none"> ・岬小の体育館をそのように有効利用されているとは知らなかった。良い事だと思う ・自分は利用しないといていた母も、今では気に入って週に 3 回利用している。利用するようになってから、身なり（服装）を気にするようになり、良い事だなあと感じている ・通いの中で、昔やっていたが今は一人でできない仕事を行う場があると良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの中で、昔は行っていたが今は自分でできないことを地域の方の協力も得ながら活動として取り入れ、生きがいへと繋げるお手伝いを行う ・個々のニーズに応じた柔軟なサービス提供を行う

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で出した意見や提案、地域の課題について、地域に根差した事業所を目指し取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で名前が上がった気がかりな方について、時々様子を確認した ・地域の方から気がかりな方がいるとの情報を貰い、介護認定の申請のお手伝いや相談に乗った 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議や普段、みさきが地域から知り得た課題など、要望があれば民生委員として、町へ相談するので、いつでも言っ貰いたい ・気がかりな方を地域で支える為にご近所の方も含めての連携が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ・気がかりな方を地域で支える為に運営推進会議で情報交換を行い、ご近所の方を含めての連携をとる
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の防災計画を把握し、自主避難訓練に活かす。また、地域での避難訓練に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での火災を想定しての避難訓練を行った ・地域づくり協議会の防災訓練に参加させていただき予定だったが豪雨のため中止となり参加できなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・常神～神子間で土砂崩れが起きた場合、車が通れなくなり送迎ができない場合はどうしたら良いか ・町の防災計画では、要支援者・要介護者の方を町へ絶えず報告していく形となっており、災害が起きた場合は、その方を優先していくのが計画上にある。初期対応として地域の方誰でもみさきを有効的に使ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の避難訓練に積極的に参加する ・地震、土砂災害、津波等を想定しての事業所の防災計画の見直しを行う ・災害時の初期対応としての避難受け入れ先として、機能する為に必要な防災対策について、検討する

